

鉄骨工事 Q&A	高力ボルト接合	共回り	制定	2011年7月1日
			改訂	2019年4月1日

Q. 共回りは、どのような理由で問題なのか？

A.

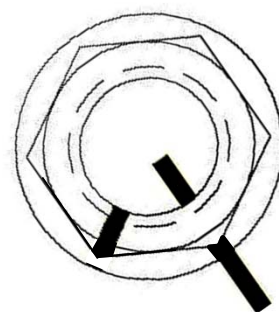
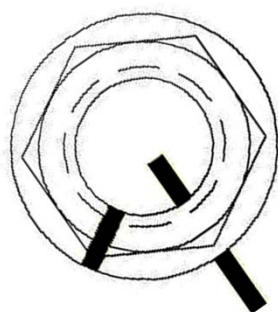
共回りとは、高力ボルトの本締めの際に、ナットとボルト、ナットと座金などが一緒に回ってしまう状態のことです。

高力ボルトは通常、ナットのみ潤滑処理が施され、ナット回転時にナットと座金間が回転することにより正規のトルク係数値が発揮されるように設計されています。共回りが発生した場合は、座金と母材間に回転が生じており、トルク係数値は変化してしまいます。

共回りが生じると、

- ①トルシア形高力ボルトの締付けやトルクコントロール法による締付けでは、トルク係数値が不安定となり、ボルトに導入される軸力は不十分なものとなります。
- ②ナット回転法による締付けでは、ボルトに対して所定のナット回転角が与えられないため、ボルトに導入される軸力はばらつき、不安定になります。

共回りが確認された場合には、正しい締付けが行なわれていない(規定の導入軸力が得られない)と判断して、その高力ボルトを新しいものに取り替えるよう規定されています。



ナットと座金が共に回った状態



共回りなしの正常状態